

## 《小綱木自治会》

年月日 令和7年10月29日(水)  
時 間 午後6時30分～午後7時30分  
場 所 小綱木公民館  
町民出席者数 14名

- ① 開会あいさつ：副町長（内容省略）
- ② 町長あいさつ：（内容省略）
- ③ 町役場出席者紹介
- ④ 懇談  
政策等に関する意見交換

質問1 町は自治会活動をどのように捉えているのか伺いたい。また、自治会活動費の増額をお願いしたい。

質問2 敬老会等の委託事業については、10万円の委託料に対して謝礼金として2万円くらいあってもいいのでは。

### 【総務課長】

回答1 東日本大震災後、除染活動等自治会の負担が大きかったので、均等割り10万円を倍額の20万円としていた。その後は均等割りを10万円に戻したが、一律の均等割り10万円は不平等とのことで、世帯数で区分を設けて差額をつけた。昨年の町政懇談会等で多数の地区から要望を受けたこともあり、世帯割については、1,000円から1,200円とした。今回も多数の地区から増額要望を受けているため、今後検討していく。

### 【町長】

回答2 委託事業についてはその予算の範囲内でやってもらうしかない。

質問3 婦人会が来年3月で休会となる。敬老会は婦人会でやっていたが、今後どうしていくのか、町の方針は。自治会でやるのか。自治会がない地域もあるが。

質問4 公民館の道路向かいから公民館はハザードマップでは危ないところとなっているが、小綱木の避難所は公民館となっている。大丈夫なのか。

質問5 鳥獣対策について、サル・イノシシ被害等についてどこが担当するのか。

### 【町長】

回答3 敬老会については地域としてやっていくというところについては継続してやってもらいたい。委託事業として必ず実施してくださいという方針は見直していきたい。来年度の予算等に向けて対応を考えていきたい。予算時期まで、来年の敬老会には対応できるように。

### 【総務課長】

回答4 小綱木公民館は土石流警戒区域になっていて、安全ですとは言えない状況。これらの警戒区域は増えていて、川俣町は中山間地域のため、今後も増え続けていて、全く指定されないところはだいぶ少なくなっている。

災害の状況に応じて被害等も変わるので、必ず公民館を使用するということではなく、場合によっては山木屋まで行くとか、いきいき荘まで下っていくとか、そういった案内で対応していく。

### 【農林振興課長】

回答5 鳥獣被害の担当は農林振興課となっています。ワイヤーメッシュ、電気柵の

購入の補助や鳥獣被害対策実施隊と連絡を密に捕獲等をしている。

質問6 実際サル等の状況はどうなっているか。

【農林振興課長】

回答6 サルについて昨年は小綱木B群という群れのサルを15頭捕獲した。群れのサル全てを捕獲すると、別の群れがやってきてしまうため、全てはとっていない。また川俣町には9つの群れがあり、今年度は飯坂群の調査を実施し、捕獲をする予定となっている。

質問7 天恵の森の整備について、現在は畑鉾山の小道の整備を実施していて、地域の活性化と関係人口の増加を目指しているが、それにあって、町道長滝線が狭い。車が交差できるような待避所を何カ所か設けてほしい、またガードレールが壊れている部分があるので修繕してほしい。

【町長】

回答7 町道拡幅は難しい。むしろ良いウォーキングコースになると思っている。林道（広域農道）も整備されているし、大きな車が通らないところに良さがあるのかと思っている。

【建設水道課長】

回答7（追加） 毎年要望を受けているが、（長滝線は）山に近い、高いということもあって難しいかなと思う。しかし、計画はしていくべきと考えている。待避所につきましては、土地の所有者がある話ですので、地域の皆様と一緒に場所の選定などを実施したい。また、長滝川は町の貴重な水源なので、道路開発することにより土砂を流すわけにはいかないので、検討していきたい。ガードレールについては、倒木が原因でもある。計画的に修繕していく。

質問7（追加） 何カ所か適当な場所があるので調査してほしい。

【建設水道課長】

回答7（追加） 地域の方も一緒に現場確認してほしい。所有者との交渉等も協力をお願いしたい。

質問8 公民館について、トイレを全て洋式にしてほしい。また、入り口やトイレの段差についても解消してほしい。

【町長】

回答8 高齢化社会にバリアフリーは当たり前なので、直すようにする。来年度の予算で対応する。

質問9 自治会として町への要望書を現在作成中なので、取りまとめ次第提出させていただく。

【町長】

回答9 本日出た要望も含めて出してほしい。

質問10 女性部について、自分は交通安全母の会の方部会長をやっているが、そういった組織に対して、若い人の協力を得られない。後継者もない。今後も町が栄えていられるのか、人材を育てるようなビジョンはあるか。

【町長】

回答10 今の若い人だと、婦人会または老人クラブといったものが分からないと思う。名前を変えていく必要もある。また婦人会や老人クラブなど分けずに自

治会などみんなで力を合わせてやっていく必要がある。そもそも高齢化し若い人がいない中、高齢であるが、元気・健康な人は多いと思うので頑張っていていただく。移住者もいるので、そういった方にも協力を仰ぐなどしていく。

質問 1 1 敬老会の件について、町の方針が決まったら早めに教えていただきたい。

【保健福祉課長】

回答 1 1 今年も自治会連絡協議会では説明している。次年度については内部で検討中だが、まとまり次第自治会連絡協議会等で皆様にお知らせしていく。

質問 1 2 広報 10 月号の町長のひとことについて、人口減少について述べられていました。そのことについて、プラスして何か考えがあれば小綱木の町民向けに述べていただきたい。

【町長】

回答 1 2 人口が減れば税収も減る。事業についてもある程度縮小していかないと、町がもたない。緩やかな人口減は日本全体がそうになっている。少しでも緩やかに減っていけば施策もゆっくり進められる。極端に減少するような事態になれば大変なことなので、そこを書いたつもり。先ほども言ったが、高齢化になっても、健康な方を中心に自助、共助で地域を作っていくしてほしい。何でも行政に頼るようなことは難しくなってくると思っている。お互いの協力がなくなるとはこれからの高齢化社会は生きていけない。自分だけ良ければという時代ではないと思っている。

⑤ 閉会のあいさつ：教育長（内容省略）